

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホームの中で生活することが多く、全員で外出する機会がない。その機会を作りたい。	外出したり、少しの時間でも外で過ごすことにより、日々の生活に変化をつけ楽しみを得るようにする。	出来る範囲で人員配置などを考え外出する機会を持つようにする。できるだけ屋上に日光浴に行く。テラスにテーブルや椅子を持ち出しおやつを食べる。	12か月
2	2	利用者様お一人お一人が楽しみや役割を持たれた生活が出来ていない。	余暇活動の充実や、お一人お一人のできることや楽しみを見つける。生きがいを見つける。	担当職員主導により、もう一度、生活歴を見直す。したいこと、の会いたい人等の聞き取りを行う。ご家族様と協力しながら入居者様がいきいきと生活できるように工夫する。	12ヶ月
3	3	入居者様の生活スタイルを尊重せず、職員側の都合や一日の支援計画を優先してしまう場面も見られる。	毎日の生活を入居者様と相談しながら行う。利用者様の思いをしっかり聞き感じて支援していく。	利用者様の言葉や表情から本当の思いはどこにあるのか考えていく。日々の会話でできたことは記録に落とし全員で共有していく。一日の過ごし方を見直す。職員のペースで動かない。	12ヶ月
4	4	お部屋の環境整備等が不十分である。	常に綺麗なフローア、お部屋で気持ちよく過ごして頂く。	担当職員主導で、日常の掃除以外もその方にとって過ごしやすい環境をご家族と相談しながら整える。洗面台やトイレも常に綺麗な状態に整えておく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。